

YAMAHA SDS

SOUND DEVICE SERIES
DISTORTION MBD-20M

取扱説明書・保証書



SDS

SOUND DEVICE SERIES

ヤマハ・サウンド・デバイス・シリーズは単体としての性能を高めるだけでなく、マッチング、操作性、可搬性など、複数のユニットを組み合わせる際の問題点をすべて解決することを目標に開発されたエフェクトユニットです。

複数のユニットを組み合わせるためには、単体としての完璧な性能が要求され、不完全なユニットの存在を許すことはできません。ヤマハはエフェクターを多用する今日のミュージシャンのニーズに応えるために、特にこれらの点を重視して、このサウンド・デバイス・シリーズを開発いたしました。

目次

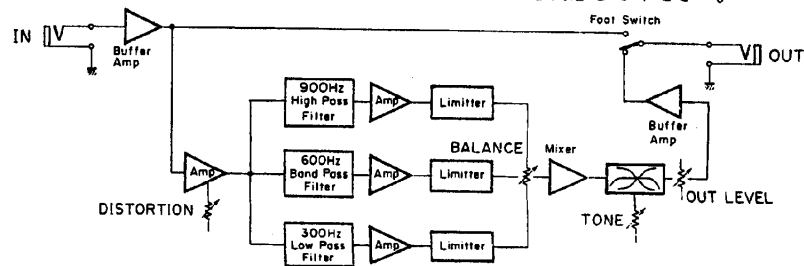
1. マルチバンドディストーション
2. 接続の方法
3. 各部の機能
4. セッティング例
5. 電池交換
6. ご注意
7. 仕様
8. アフターサービス

1. MULTI BAND DISTORTION

マルチバンドディストーション

MBD-20Mは、音を強制的に歪ませたり、伸ばしたりするためのエフェクターです。ただし従来のディストーションとは異なり、MBD-20Mには、低域、中域、高域、それぞれに独立したディストーション回路があります。このため、低域のディストーション成分により、中・高域のサスティン感が吹き消されるようなことはありません。

また、このユニークな回路構成に付随したBALANCEつまみも特徴的です。BALANCEつまみでは、低・中・高域のディストーション成分をミキシングする段でレベルバランスを調整でき、DRIVEおよびTONEつまみとの組み合わせにより、より幅広い音づくりが可能となりました。真空管アンプをドライブさせたようなソフトなディストーションや、攻撃的なハードディストーションなど、高品位なディストーションを実感してください。

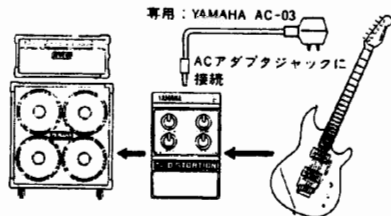


2. Connection

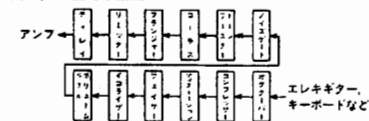
接続の方法

1. 付属の乾電池をセットするか(“電池交換”の項を参照)、または専用のACアダプタ(YAMAHA AC-03)を接続してください。
2. IN◀ジャックに、楽器を接続してください。プラグを差し込むと自動的に電源が入ります。
3. アンプまたは次のエフェクターのIN◀ジャックと、本機の◀OUTジャックを接続してください。
4. フットスイッチを踏むと、効果をON/OFFできます。効果がONの状態インジケータが点灯します。
5. 右の図は、他のエフェクターも使用する場合の、効果的な接続順序の例です。2個以上のエフェクターを組み合わせる場合の参考にしてください。

[注意] ●本機の入出力端子は、EIAJ規格RC-6701Aに適合しています。規格外のプラグを使用した場合、正常に動作しないことがありますのでご注意ください。
●本機を使用しないときは、IN◀ジャックからプラグを抜いておくよう心がけてください。プラグを差した状態は電源ONの状態のため、電池が早くなくなります。



例1) 一般的な接続

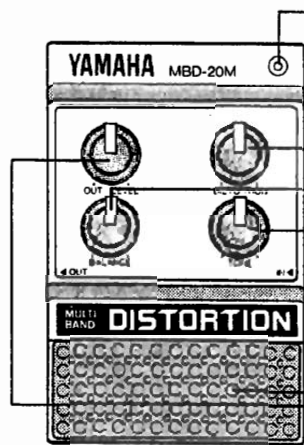


例2) ステレオコーラス効果が得られる接続



3. Function

各部の機能



- エフェクトインジケータ
効果のON/OFFと電池の有無を確認することができます。ONの状態では点灯、OFFの状態では消灯します。暗くなったり、点灯しなくなった場合は、新しい電池と交換してください。
- DISTORTIONつまみ
全帯域(低域、中域、高域)の歪みの強さを調節するためのつまみで、右に回すほど歪みの強さが増すと共に、音の伸びる時間が長くなります。
- BALANCEつまみ
低域、中域、高域のミキシングバランスを調節するためのつまみで、右に回すほど高域のミキシング量は上がり、逆に低域のミキシング量は下がります。また、左に回すほど高域のミキシング量は下がり、低域のミキシング量は上がります。
- TONEつまみ
低域、中域、高域をミキシングした後、音質を調節するためのつまみです。右に回すほど高域が強調されると共に低域がカットされて、鋭い音になります。左に回すほど高域がカットされると共に低域が強調されて、柔らかい音になります。
- フットスイッチ
効果のON/OFFを足もとで行なうためのスイッチです。
- OUT LEVELつまみ
効果をONにした際の音量レベルを設定するためのつまみで、右に回すほどレベルが上がります。フットスイッチを繰り返し踏んで、効果がONのときとOFFのときの音量バランスを調整してください。

4. Setting Example

セッティング例

例 1)

真空管アンプで歪ませたような暖かみのある、そしてサスティンのきいたディストーションです。

- (1) フットスイッチを踏んでインジケータを点灯させ、ONの状態にします。
- (2) DISTORTION, BALANCE, OUT LEVELの各つまみを、右図のようにセットします。
- (3) TONEつまみを、右図のように矢印の範囲内でセットします。ピックアップ等の特性にあわせて、セッティングしてください。



例 2)

メタルロックなどに向けた過激なハードディストーションです。

- (1) フットスイッチを踏んでインジケータを点灯させ、ONの状態にします。
- (2) DISTORTION, BALANCE, OUT LEVELの各つまみを、右図のようにセットします。
- (3) TONEつまみを、右図のように矢印の範囲内でセットします。ピックアップ等の特性にあわせて、セッティングしてください。

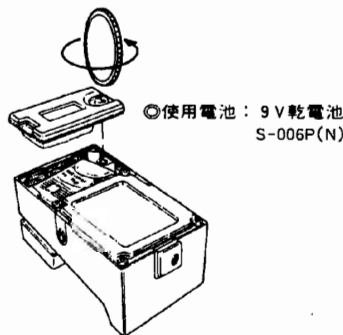


5. Battery Change

電池交換

※エフェクトインジケータが暗くなったり、点灯しなくなった場合は、新しい電池と交換してください。電池を交換してから点灯しなくなるまでの時間(電池寿命)は、温度、電池の種類、使用状態などによって異なりますが、およそ15時間です。

1. 底面の電池カバー取付ネジを、右図のように、コインまたはマイナスドライバーで外します。
2. 古い電池を取り外し、同じ規格の新しい電池[S-006P(N)]をセットします。
3. 電池カバーを取り付け、取付ネジを締めます。
4. 電池を長時間使用しない場合には、液もれによる故障を防ぐため、取り出しておいてください。



6. Caution

ご注意

1. 電池を長持ちさせるため、使用しない時は必ず入力側(IN) ジャックからプラグを抜いてください。
2. 入力側ジャックにプラグを差し込んでフットスイッチを踏んでも、エフェクトインジケータが暗い場合や点灯しない場合は、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。
3. 電池の液もれによる故障を防ぐため、長時間使用しない場合は、電池を取り出して保管しておいてください。
4. ACアダプタは、専用のYAMAHA AC-03をご使用ください。他のACアダプタを使用した場合、故障の原因となることがあります。
5. ギターアンプ等の電源を入れたままでエフェクターのプラグを抜き差ししないでください。ギターアンプ等の故障の原因となります。
6. この取扱説明書・保証書をお読みの後は、大切に保管してください。

7. Specifications

仕様

●入力インピーダンス: 1MΩ ●出力インピーダンス: 2kΩ以下 ●最大出力レベル: 1V peak to peak(100Hz入力) ●残留ノイズ: -100dB(入力換算, IHF-A, 入力ショート) ●周波数特性: 20Hz~100kHz ± 3 dB(エフェクトOFF) ●BALANCEコントロール: 中域に対する高域と低域の混合比(つまみCenter時; 低域+6dB, 高域-2dB)(つまみLow時; 低域+8dB, 高域-22dB)(つまみHigh時; 低域-6dB, 高域+8dB) ●TONEコントロール: 8dB at 200Hz, 3kHz ●電池寿命: 連続使用約15時間(ネオハイトップ使用時) ●電源: 9V乾電池[S-006P(N)], ACアダプタ[AC-03] ●消費電流: 18mA ●寸法(W×H×D): 80mm×56.5mm×125mm ●重量: 490g(電池含む) ●付属品: 9V乾電池(ネオハイトップ: S-006P(N))

*0dB=0.775V_{r.m.s.}

*仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

8. After Service

アフターサービス

1. アフターサービス

保証期間中に万一故障が発生した場合、お買上げ店にご持参頂きますと、技術者が修理・調整致します。この際必ず保証書をご提示ください。保証書なき場合にはサービス料金を頂たく場合もあります。また、お買上げ店より遠方に移転される場合は、事前にお買上げ店あるいは日本楽器支店にご連絡ください。移転先におけるサービス担当店をご紹介申し上げますと同時に、引続き保証期間中のサービスを責任をもって行なうよう手続き致します。

2. 保証期間

ヤマハSDSシリーズ製品の保証は、ご購入日(保証書による)より満6ヶ月(現金・クレジット・月賦等による区別はございません。また保証は国内のみ有効)と致します。

3. 保証期間後のサービス

満6ヶ月の保証期間を過ぎますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスをさせていただきます。そのほかご不明の点などございましたらヤマハサービス網までお問い合わせください。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(お客様相談窓口・お預り修理窓口)

東京北區サービスセンター	〒211 川崎市中原区本町118-1 TEL (044) 434-3100
新潟県サービスステーション	〒950 新潟市万代1-4-8 (シルバークホールビル2F) TEL (0252) 43-4321
大阪電音サービスセンター	〒565 吹田市新戸屋下1-16(千里丘センター内) TEL (06) 877-5282
四国電音サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7(日本楽器高松店内) TEL (0878) 51-7777, 22-3045
名古屋電音サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 (日本楽器名古屋流通センター) TEL (052) 652-2230
九州電音サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL (092) 472-2134
北海道電音サービスセンター	〒065 札幌市東区本町1条9丁目3番地 TEL (011) 781-3621
山形電音サービスセンター	〒983 山形市虹町5丁目-7(新形共同配送センター3F) TEL (0222) 36-0249
広島電音サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区紙園町西原2-27-39 TEL (082) 874-3787
浜松電音サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 TEL (0534) 63-1127

本 社
電 音 サ ー ビ ス 部 〒435 浜松市上西町911
TEL (0534) 65-5195

*住所及び電話番号は変更になる場合があります。